令和7年3月保健業務主管課長会議事要旨

1 日 時 令和7年3月14日（金）9時30分～9時54分

2 場 所 市役所本庁舎地下1階第8共通会議室

3 出席者

（構成員）

各区保健業務主管課長、課長代理

（事務局）

健康局健康推進部健康施策課長、保健所管理課長

4 議 題

- (1) 介護予防の更なる推進「”すかい”プロジェクト」について
- (2) 「大阪市栄養士人材育成指針」の改定について
- (3) その他

(1) 介護予防の更なる推進「”すかい”プロジェクト」について

【福祉局高齢者施策部認知症施策担当課長より資料に基づき説明】

福祉局では、高齢者が地域でいきいきと暮らし続けられるよう、これまで以上に介護予防の取組を推進し、令和7年度より「す」こやかに、「か」いご予防で、「い」い人生の頭文字をとり「”すかい”プロジェクト」と称し、介護予防の更なる推進にかかる様々な事業を実施する。

そのため、介護予防への参加促進に向けて、これまであまり関心がなかった人等へ介護予防の取組を「知る」「始めてみる」「楽しむ」「広げる」の4つの柱で実施するが、当プロジェクトの概要説明、また、多くの市民に事業内容を知っていただくための広報、周知等の協力にかかる情報提供を行う。

【区】区として事業をしていく上で、スケジュール感はすごく大事になってくる。プロジェクトチーム会議のホームページの資料では、3か年で7年度から取り組んでいく案であったと思う。実際どのような事業を、どういったスケジュール感でやっていこうとしているのか。それが決まっていなくても、プロジェクトチームはおそらく進捗管理をしていくので、プロジェクトチームのスケジュールはどうしていくのか教えていただきたい。

【説明者】アスマイルのスタートは、4月1日になる。他の事業については、トレーニング事業は4月以降に、公募し委託するので、少し遅めに始まるかと思う。補聴器等については、周知は4月1日からスタートするかもしれないが、受付をし、関係団体と調整し、実際に助成を受け取っていただけるのは少し時間がかかるかと思う。まず、この「”すかい”プロジェクト」が始まるという事を、4月1日にホームページに掲載し、その掲載部分に、従来の介護予防の事業や、就労的な活動、それぞれが事業内容を案内するページを作っていく予定である。そういったリンク先のURLを掲載したホームページを立ち上げていく形になると思う。プロジェクトチーム会議については、概ね年に1回進捗管理をする予定で考えている。まず、中間として途中経過を12月頃には明らかにしていくのではないかと考えている。重点的なものは3年間で進めていき、2年目で1年目を検証し、少し変えていたり、既存事業も見直しを図るといったことを3年間でする予定にしている。福祉局総出で色々なものをしているので、問い合わせをいただいた時に、それぞれ各担当を案内

する事もあるかと思うが、初めてでチャレンジしている部分もあるので、お気づきの点があれば、是非教えていただきたい。一緒に、健康づくり、健康寿命の延伸に向けて進めていければと思うので、よろしくお願ひしたい。

【区】「介護事業者のインセンティブを検討」とあるが、企業連携で話を聞く中で、色々な企業がフレイル予防や、こういったことができますという事を話している。介護事業者ではない企業でもフレイル予防に取り組んでいる企業が多い。わかる範囲で良いので、どのようなインセンティブを考えているのか教えて欲しい。

【説明者】資料にもあるが、「利用者の選択に役立つ介護事業者の様々な取組みをホームページで紹介」となっており、介護予防に力を入れているところがわかれば、私は同じサービスを受けるならこの事業者で受けたい、という選択を利用者がしやすいという事がまず念頭にある。他の部分が、広く市民や介護予防を行っていない人が主な対象というところに比べて、こちらは、要支援の方や要介護の方の選択にも役立つような内容として考えている。介護予防に取り組んでいる介護事業者へのインセンティブについては、直ちにあるものではなく、まずそういったインセンティブが有効かどうかという事も含め、これから検討していく。現在ホームページの紹介へ向けて、事業者等への聞き取りの仕方や、アンケートの仕方等について進めているところである。

また、フレイル予防に関して協力いただく事業者は非常に重要で、官民連携で進めていきたいと思っている。その点については、専門的な要素は少ないかもしれないが、知らないと始まらない、知っていただくというところで、協力いただけると非常に有難い。介護予防の意義そのものも、なかなか浸透しきれないという事が反省点としてはある。我々も市民局等に協力事業者はどのようなところがあるのか聞いているが、その辺りは各区のほうで色々な事業者との連携や情報を持っていると思うので、是非教えていただきながら進めていきたいと思っている。

【区】令和7年度の介護予防施策の方向性と取組みというのは、新たな「知る」「始めてみる」「楽しむ」「広げる」といった枠組みを一旦決めて、既存の事業を色々入れて、それプラス新規事業が加わったというような概念で良いのか。

【説明者】既存事業については介護予防の評価をし、確かに価値があるもので効果があるというところは踏まえた上で、その知見をベースに、今回のこの事業については、新たな事業を、「知る」「始めてみる」「楽しむ」「広げる」というところに掲載しており、内容は新しい。

【区】例えば、介護予防ポイント事業は現在もしていると思うが。

【説明者】介護予防ポイント事業は、新たに幼稚園障がい者・児関連施設等になっており、ここが新しく始まり、「等」のところには、福祉局や区が行っているイベント等でお手伝いいただける方も、このポイントをプラスアルファできないかという事も含め、この3年間で考えていきたい。掲載しているものは、今まではしていない部分加わっている。

(2) 「大阪市栄養士人材育成指針」の改定について

【保健主幹より資料に基づき説明】

令和3年2月に策定後、4年が経過したため、「大阪市栄養士人材育成指針」を改定しますので報告します。